

医学系研究科博士課程関係学生 各位

医学系研究科長

新たな学位審査制度（学位論文審査コース）申請について（通知）

※ 新たな学位審査制度（Track2）における審査手続き等の改正に伴い、「Track2」を「学位論文審査コース」、「Track1」を「国際査読付き論文審査コース」に名称を変更する。ついては、学位論文審査コースの申請について下記のとおり通知する。

記

1. 趣旨

十分なデータに裏付けられ医学生命科学分野に広くインパクトを与える論文を掲載し、医学生命科学の革新的な展開に寄与することを趣旨とする難易度の高いジャーナルへの論文の掲載を目指す学生に、書き上げ論文で学位を取得する機会を与える。

2. 対象

原則として申請時に4年次の在学者のみとし、在学期間延長者（留年者）や単位修得退学者は対象としない。**4年次の在学期間中に審査が終了しない場合は、翌年度の3月末（秋入学者の場合は翌年度の9月末）までに審査を終えなければならない。**

なお、翌年度に審査が伸びた場合の学生身分については、単位修得退学であっても良いものとする。

3. 審査の基準

オリジナリティーが高く医学生命科学の革新的な展開に寄与する研究であり、十分なデータに裏付けられた研究論文であるかどうかを審査する。

医学生命科学分野の革新的な展開に寄与し、十分なデータの裏付けのもとに医学生命科学全般に広くインパクトを与えることを趣旨とするジャーナルに掲載される論文と同等以上の水準の論文であることが求められる。

参考）「審査の基準」に該当する論文を掲載する難易度の高いジャーナル（当該年度の Journal impact factor で10程度以上を目安とする）の掲載論文と同等以上の水準にあること。

4. 申請論文の著者

学位論文審査コース申請論文は、**単著**の英文論文とし、原則として、学位申請者が自身で取得したデータで作成する。論文本体とは別の参照資料の添付は可能だが、共同研究者の取得データに大きく依存する場合は、国際査読付き論文審査コースで学位審査を受ける。参照資料は審査の対象とはならない。

また、学位論文に掲載した研究データは、他の学位申請には使用できない。

5. 審査の期限

4年次の3月に修了するためには、9月30日までに学位論文審査コース仮申請を提出することが望ましい。10月1日以降に提出された場合は、本審査の終了が4年次の3月を超える可能性がある。

6. 申請様式の配布

学位論文審査コース申請様式の取得を希望する者は、教務係にメールにて申し出ること。

送付先：i-kyomu-kyomu@office.osaka-u.ac.jp（医学系研究科教務課教務係）

医学系研究科博士課程に係る学位論文審査コースによる学位申請手続きについて

■学位論文審査コース仮申請・4年次の毎月末日切（土日祝日の場合は前日）

※翌月の大学院教務委員会で審議します。

1. 大学院教務委員会
・学位論文評価委員の選出（審議）

3月修了希望者は、**9月30日期限**

※秋入学者で9月修了を希望する場合は、3月末日期限

2. 学位論文評価委員会設置
・申請論文の審査
・学位論文評価委員会意見書を大学院教務委員会に提出

学位論文評価委員会の審議により、追加書類を求められた場合、再度、学位論文評価委員会にて審議する。**(1回限り)**

(翌月)

3. 大学院教務委員会
・学位論文評価委員会意見書を確認し、大学教務委員長より主査、副査の選出

以降国際査読付き論文審査コースと同様に、予備審査、研究発表会（公聴会）、学位本審査を行う。

学位論文審査コースによる仮申請手続きに係る必要書類と注意事項

■学位論文審査コースとしての学位仮申請 (様式の取得を希望する者は、教務係に申し出てください。)

学位申請者と指導教授の連名で仮申請する。指導教授は、申請論文が学位論文審査コースの審査の基準を満たすこと、および投稿予定ジャーナル、予定投稿時期、学位授与後のジャーナル掲載までの研究継続体制等を説明した文書を提出する。特に、定年退職の近い指導教授は、ジャーナル掲載までの研究継続体制を明確にすることが求められる。

[毎月の締切：4年次の毎月末（土日祝日の場合は前日）]

※3月修了希望者は4年次の9月30日期限（10月入学者は4年次の3月末日期限）

Format No.	必要書類	部数	備考
TR2_1-01	学位授与仮申請書(学位論文審査コース)	1	
TR2_1-02	学位授与仮申請推薦書(学位論文審査コース)	1	
K03	論文概要	1	●電子データ（Word形式）も提出 ※ファイル名は、 <u>仮申請_氏名</u> ※「電子データ提出フォーム」より提出してください。
	主論文	5	●電子データ（PDF形式）も提出 ※ファイル名は、 <u>主論文_氏名</u> ※「電子データ提出フォーム」より提出してください。

■学位論文審査コースとしての予備審査

学位論文審査コースによる学位申請者の予備審査は、主査および副査2名の計3名と行います。

予備審査報告書の様式は国際査読付き論文審査コースとは異なるため、研究発表会申請の際は、仮申請時に配布した様式集の中からご利用ください。

Format No.	必要書類	備考
TR2_L01	予備審査報告書(学位論文審査コース)	
TR2_L02	予備審査会開催通知(学位論文審査コース)	●予備審査を行う前に電子データ（Excel形式）を提出してください。 ※「電子データ提出フォーム」より提出してください。

■学位論文審査コースとしての研究発表会申請書類

学位論文審査コースによる学位申請者の研究発表会申請書類は、国際査読付き論文審査コースとほぼ同様の申請書類が必要となりますが、一部、別様式のもの、不要なもの、下記のように記載する必要があるものがあります。

I. 研究発表会申請書類

Format No.	必要書類	部数	備考
P01_1	研究発表会申込書	1	公表（予定）学術雑誌名の欄は、投稿中（投稿予定）雑誌名の後に「 学位論文審査コースによる申請 」と記入ください。
TR2_L01	予備審査報告書（学位論文審査コース）	1	指導教授、主査1名、副査2名の署名
P09	剽窃確認の報告書 ※iThenticate のレポートも3部添付のこと。	3	指導教授が作成します。（主査ではありません。）主査1名、副査2名の合計3名分を提出してください。
P04	業績目録	1	公表学術雑誌名 巻（号）：頁，年の項目は、投稿中（投稿予定）雑誌名の後に「 学位論文審査コースによる申請 」と記入ください。

II. 学位授与申請書類

Format No.	必要書類	部数	備考
H02	同意書	不要	単著の書き上げ論文での申請のため不要。
H03	論文目録	1	3. 出版（予定）年月日の欄は、「 学位論文審査コースによる申請 」と記入ください。

研究発表会終了後に審査を行った教員から提出される「合否判定書」は、国際査読付き論文審査コースでは副査2名からのみ提出されますが、学位論文審査コースについては主査1名、副査2名の合計3名からの提出が必要となります。

[注意事項]

【学位論文審査コースでの学位申請中に論文がジャーナルアクセプトとなった場合】

学位論文審査コースでの審査を中断して国際査読付き論文審査コースに移行するか、あるいは学位論文審査コースでの審査を継続するか選択が可能です。

【学位論文審査コースでの学位申請の際の留意点】

研究発表会（公聴会）において研究内容は公表の扱いとなる。研究内容についての特許出願等を考慮する場合は留意のうえ、発表を行ってください。

学位論文審査コースによる学位授与後の注意事項

【学位を授与された者の学位取得後の責任】

学位授与後1年以内に、論文の全文、あるいは例外規定を利用し論文の要約を大阪大学の機関リポジトリにより公表する。

【学位授与後の指導教授の責任】

学位論文審査コースとしての学位仮申請時の申請内容に従い、論文のジャーナル掲載に責任をもつ。

・ジャーナルアクセプトの進捗確認

指導教授は、年度ごとに進捗報告を提出する。また、ジャーナルアクセプト時に最終報告を提出する。最終的に学位論文審査コース基準ジャーナルとはみなせないジャーナルに掲載となった場合は、学位授与は完了しているため、学位が取り消しとなるものではないが、指導教授は最終報告でその経緯を文書で説明する。

原則学位授与後3年間の最低限国際査読付き論文審査コース基準ジャーナルへのアクセプトは義務付けるが、期間延長できる余地は残しておく。3年以降は、指導教授は毎年経過を博士課程委員会で説明する。

【博士学位申請問い合わせ先】

医学系研究科教務課教務係

TEL: 06-6879-3017

E-MAIL: i-kyomu-kyomu@office.osaka-u.ac.jp

(受付時間: 9:00-12:00、13:00-16:30)